

# RSSN出向報告

岐阜県遊技業協同組合(大野春光理事長)は5月31日、岐阜グランドホテル(岐阜市)において、第57期通常総会を開催。その懇親祝賀会の席上、岐阜サミット正本店の大野真希氏(副

長良川ボウリングセンター)は「私が見たりカバリーサポート・ネットワーク(RSSN)の現状と業界が取り組むべき依存対策」と題して、RSSN出向報告を行った。

大野氏は、昨年11月から本年1月までの3カ月間、沖繩にあるRSSNに出向。報告では①RSSNの相談業務について②依存とはどのようなものか③業界が取り組むべき依存対策について述べた。このホール従業員出向制度は、依存対策としてRSSN強化の一環として昨年5月から始まった。公募により1期2名ずつ3カ月間担当しており、現在までに5期10名が携わった。

## 【報告・要旨】

①RSSNの相談業務について

ホール従業員出向の研修として経験したのは、最初の1カ月は、常駐相談員の隣で、電話相談の内容を聴いて、相談の基本的な流れ、相談業務に必要な基礎的な福祉の知識を学んだ。2カ月目は、常駐相談員のサポートのもと、実際の電話相談対応を務めた。3カ月目は、単独で相談

を受け持ち、電話相談の戦力として務めた(11月～1月の沖繩相談数は、816件であり、大野氏はその内160件ほどを担当し約2割をカバーした事になる)。

相談者は、電話をすると、「のめり込みについての相談は1番を、それ以外のことは2番を押して下さい」というガイダンスが流れる。1番は相談員につながり、2番は支援室につながる。それ以外を担当する支援室では、ホールや業界に対する苦情や不正について、あるいはホールチラシなどにRSSNの電話番号が記載されている場合など、ホールと間違えての電話など。支援室は全商協が担当していたが、今年4月からは沖繩で受け付ける事になり、出向者が支援室を担当する事になっている。

②依存とはどのようなものか

相談の内容では、ほとんど依存についての相談。依存(のめり込み)に悩む本人からの相談が8割を占めている(2017年集計)。その中で、8割は「パチンコをやめる方法、どうしたらやめられるか」について。RSSNでは、そうした相談に対して遊技機をやめる方法をアドバイスする事はない。

「そもそもパチンコ遊技で問題を起している人には、それほどまでに依存(のめり込み)する背景があるか

らです。遊技にのめり込む理由の部分こそが、相談者が本当に困っている事であって、そこが解決しない限りは、表面的なアドバイスになってしまい、遊技から離すだけではまた同じ問題を起こす可能性があるのです(大野氏)。

相談の流れでは、相談者は何に困って電話してきたのか、どんな状況なのかを聞いていく。遊技頻度、生活の状況、仕事について、家族関係、場合によっては精神疾患、障がい等、立ち入った所まで聞いていく。そうした中で相談者との信頼関係を深めながら、のめり込みの原因となる背景を探っていく。その上で、相談者の支援につながる社会支援(支援団体、機関など)を紹介していく。相談者自身に力がある場合は、自身でできるようなアドバイスするなどする。社会支援を紹介が4割強、アドバイスが5割強の割合。RSSNの相談を務めている中、

「入り口こそ遊技の相談なのですが、掘り下げていくと遊技ののめり込みについての相談というよりも、人生相談のように感じました(大野氏)。

③業界が取り組むべき依存対策について  
大野氏は、依存症イコール病気というメディアの安易な取扱いについては、生活・仕事・余暇の時間の使

い方などに関する問題が多く含まれており、医療で治る範疇ではないことから、

「依存症は」病気だから仕方ない。病院にいけばなおる」という勘違いにもつながりかねないとして、警鐘を鳴らした。

相談対応の中で、なぜ遊技にのめり込む事になったのかという相談者一人ひとりの背景にある様々な原因について、一緒に向き合う事の大切さを学んだという。そして、遊技がなくてはならない存在であるという事も実感したという。

「遊技そのものが、相談者の人生にとってプラスになっている部分があると思えました。ですから、人生を充実するためホールに来店され、遊技を必要とするお客様に遊技環境を提供し続ける必要があると思います。

その一方で、遊技に問題をおこさないよう安全安心な遊技環境の提供により一層考えていかなければならないと思います」と述べた。

今後は、安心パチンコ・パチスロアドバイザーの

役割り、自己申告プログラムの活用など、安全安心な遊技環境の提供に各ホールが連携していけるよう呼びかけた。

また、任期満了に伴う役員改選において6選となった大野理事長は、依存対策が進む事で安全安心な遊技環境が国民大衆に認知されていく事の重要性を説きながら、今後3年の健全化への取り組みが大きな業界進展につながるだろうと大同団結を呼びかけた。



出向報告する大野氏